

事業報告

2013年度九州山口介助犬・聴導犬普及キャンペーン事業のご報告

ごあいさつ

身体障害者の自立・社会参加に有益な補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）ですが、2002年施行の身体障害者補助犬法から12年を経た現在でもなお、一般市民や介助犬の利用者である障害者本人、その家族すら介助犬が障害者の自立や社会参加に対する意欲に及ぼす影響の大きさを認知できていない状況です。九州山口8県において介助犬は、まだ福岡県1頭と宮崎県1頭しか普及していません。そこで当協会では、九州・山口圏内における障害者福祉の向上を図るために「独立行政法人福祉医療機構」助成を受けて【2013年度九州山口介助犬・聴導犬普及キャンペーン事業】を行いました。キャンペーン会場では補助犬の基礎知識について、補助犬クイズ、参加者の介助犬体験コーナー、パネル展示、資料配布などを通じてわかりやすく介助犬や聴導犬について知っていただきました。今後も当協会は、九州各県の行政及び関係団体と連携し介助犬&聴導犬の積極的認知度向上のため積極的に啓発活動に取り組んで参ります。これからも九州補助犬協会では、九州各県の行政や関係団体に理解と協力をお願いしながら、九州山口各県の障害者福祉に補助犬育成を通じて障害者福祉に貢献してまいります。最後に、この啓発活動にご理解とご支援をいただきました、「独立行政法人福祉医療機構」、各県の障害福祉課、関係団体並びにボランティアの皆様にご心よりお礼申し上げます。

独立行政法人福祉医療機構 助成事業ご報告

助成事業名	九州山口における介助犬・聴導犬普及事業
主催	特定非営利活動法人九州補助犬協会
実施期間	2013年12月23日～2014年3月21日
開催県	長崎県、佐賀県、宮崎県、山口県熊本県、福岡県、大分県、鹿児島県
所見・成果等	<p>【所見】キャンペーンにより参加者に対する補助犬及び介助犬育成の理解がより深まったとアンケート調査結果が得られた。このアンケート調査結果から九州山口県圏内においては、補助犬や介助犬、聴導犬に対する認知が低いこと感じた。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)九州山口8県の各会場で参加者の多くの方に《介助犬・聴導犬の情報が得られた》との声を多く聞きました。今後の啓発活動の取組みに役立つ参考資料としてのアンケート調査結果を得られた。</p> <p>(2)新聞社、テレビ放送局から取材を受けたことで、このキャンペーンを通じてメディアからの情報発信が行われたことにより、キャンペーンに参加できなかった多くの人にも介助犬や聴導犬の現状や理解を深める情報提供ができた。</p> <p>【課題】アンケート調査結果を踏まえて、今後も継続的に啓発活動を行っていくことが介助犬、聴導犬の普及に大きく影響を及ぼすと考える。</p>